

2年ぶりに「川平壮寿会」との交流が再開できました

約6年前から交流がある「川平壮寿会」の皆様とは、新型コロナウイルスの流行に伴い活動がストップしておりましたが、5月19日（木）2年ぶりに交流を再開することができました。

「川平壮寿会」の高橋清彦さんからは、本校の先輩方の活躍についてお話していただき、仙台大明成高校と地域との繋がりを感ずることができました。



「川平壮寿会」の高橋清彦さんからのお話 △



生徒たちからは、本校の卒業生が創作した「MEISEI若返り体操」を披露しました。体操を行う時は、動作を大きくするだけでなく、笑顔と「私はまだまだ若い!」という気持ちをもって体操するようにと伝え、参加者全員で元気よく体操することができました。

△「MEISEI若返り体操」の様子

最後は、「輪投げ大会」を行いました。みんなで声を掛け合い、高得点を目指しました。盛大に盛り上がることができました。



「輪投げ大会」の様子

☆ 高校生の感想 ① ☆

【庄司 袖羽さん：岩沼西中出身】

初めて壮寿会の方々と交流をして、とても楽しかったです。若返り体操では、私たちより壮寿会の方々が上手で、終わった後「あー疲れた。楽しかった」とおっしゃってくれて、疲れるまで体を大きく動かしてくれ、楽しんでくれたのかなと思い、すごく嬉しかったです。

☆ 高校生の感想 ② ☆

【平間 彩寧さん：増田中出身】

若返り体操を一緒にやった壮寿会の方々が「明日筋肉痛になる」と言ってくれて、それぐらい本気でやってくれたと分かり、とても嬉しかったです。輪投げでは、投げるコツを丁寧に教えてくださり、すごく盛り上がることができました。

☆ 高校生の感想 ③ ☆

【竹田 小雪さん：台原中出身】

今回参加してみて、高齢者の方々もコロナ禍での生活が長く続くことで、今まで当然のようにできていた事が制限されているのだろうなあと感じました。引きこもりがちになってしまい、ストレスを感じてしまう高齢者の方々もたくさんいらっしゃるのだろうと思ってしまいました。私たちのような高校生が中心となって交流の場をつくり、地域の方々と楽しく活動できるイベント等をこれからも考えていくことで、地域の多くの高齢者が元気になってほしいと感じました。

交流した「川平壮寿会」の皆様との記念写真



【福祉未来創志科】

の学科紹介ブログは

こちらから ⇒

